

教科	数学科	単元名	一次関数と図形の調べ方
----	-----	-----	-------------

本時で育む主な情報活用能力

A-STEP 4, C-STEP 4
D-STEP 4, L-STEP 4

該当番号の詳細内容は「大阪府情報活用能力ステップシート」から確認できます。



本時のねらい

- 各自がワーク、ロイノートの演習問題、Qubena、参考書、プリント等を用いて自身の進捗状況や習熟度に応じて選択することができる。自らで計画を立て、自己調整力をつけることができる。
- 複数の解法がある問題や、他者への説明が求められる問題を取り入れることで、自身の課題を明確にすることができる。
- 他者に説明することによって理解を深めるとともに、さまざまな考え方や視点を理解できる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- Google Classroom および Google スプレッドシートを活用し、自身の学習状況を可視化・把握する。
- クラス全体で共有されたスプレッドシートを他者参照できることから、同じ課題に取り組んでいた、既に課題解決したクラスメイトの考えを確認したりしながら、自発的に助言を求めることで、主体的に学ぶ姿勢を養う。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- Google スプレッドシート ・Google Classroom ・Qubena ・ロイノート・スクール

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<p>本時の学習課題：自由進度学習のため、個に応じて取り組む課題はさまざまとなる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時の学習を、Google スプレッドシートをもとに確認する。 本時の目標の設定を生徒自身で行い、それらを達成するために、本時では何に取り組むのかを記入する。 <p>【写真1】</p>	<ul style="list-style-type: none"> スプレッドシートをもとに前時までの学習状況を確認する。 残りの総授業時間と進捗状況を照らし合わせて、どのように本時の学習を進めていくのかスプレッドシートに記入する。
展開 (40分)	<ul style="list-style-type: none"> 教科書、プリント、ワーク、Qubena等をもとに、自身で設定した目標の達成に向けて学びを進める。教科書の問題を解き進める生徒もいれば、プリントを解く生徒、ワークやQubenaに取り組む生徒など、自身の習熟度や進捗状況に応じて学び方を選択している。 <p>【写真2】【写真3】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学び方を自己選択する。 電子黒板等を活用しながら、教員から説明を受けたい生徒に対しては、教卓前に来てさせて個別指導を行う。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> 授業の最初に設定した目標がどれくらい達成できたのか、1時間の学習の振り返り（何が理解できたか、どのように学習することができたか、次回どうするのか）をスプレッドシートへ記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> スプレッドシートはクラウド上で全体共有しているため、他者参照が可能である。 前回までの自身の振り返りや教員からの評価を参照しながら、他者の表現方法や進捗状況を確認できる。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】学びの進め方の提示



【写真2】自分で設定しためあてや進捗状況等に応じて、各自が学びを進める様子



【写真3】Qubenaを活用したり、スプレッドシートで他者の学習状況を参照したりしながら、自分に合った学習方法を選択している様子

児童生徒の反応や姿容

- スプレッドシートを全体で共有したうえで、誰とどのように学ぶかを常に自己選択しているため、自己調整力が身につく、様々な学び方で学習を進める姿が見られるようになった。子どもたちは、これまでのコンテンツベースの学習ではなく、コンピテンシー（資質・能力）を育成する学びが身につけており、自ら学びを進める生徒が増えてきている。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- 「学習の流れ」を示すことで、自ら学習を進める生徒が増えた。
- クラウド活用することで、全員の学習状況を教員も確認することができ、必要な生徒に、必要な支援を行うことが出来ている。